

平成28年度 見附市図工・美術部 活動報告

部長 黒井 美智子

1 研究主題

- 自分の思いを豊かに表現する子どもの育成

2 研究の概要

(1) 図工・美術部研修会

- 実施日：平成28年8月22日（月）
- 会場：見附市立名木野小学校
- 講師：新潟大学教育学部教授 柳沼 宏寿 様
- 内容：講演「絵に表す」に関わる指導について（講話及び実技指導）

(2) 見附市学童美術・きらきらアート展

- 実施日：平成28年12月9日（金）～12日（月）
- 会場：ネーブルみつけ
- 対象：見附市内の小学校・中学校・特別支援学校児童・生徒
- 展示：平面作品・立体作品

3 研究の実際（図工・美術部研修会）

- 前半は、「絵に表す」ことの理論的な講話で、大正時代に使われていた教科書「新定画帖」や当時の子どもの作品を実際に見せていただいた。教科書などの変遷をたどることで社会背景への理解を深め、かつ、現代は新自由主義の真っ只中にあることを再認識した。同時に、時代は変わっても、子どもの絵が何を表出しているかを注意深く見取ることが重要であると学んだ。
- 後半は、実技として、様々な道具（筆）を使ったドローイングを体験した。筆の硬軟の違いによる生成的ドローイング、そして、水彩絵の具の特性を生かしてにじみやぼかし表現を工夫した。最後には、グループごとにテーマを設けて共同製作を行い、鑑賞し合った。体験を通して、題材開発や題材構成の工夫について考える様々な観点を得ることができた。



4 成果と課題（見附市学童美術・きらきらアート展）

- 会期中の来場者が1600名を超えた。昨年度よりも500名ほど増加した。また、アンケートでも見応えのある作品が多かったという声を多数いただいた。
- 搬入及び展示、搬出及び撤去作業それぞれ、滞りなく作業を進めることができた。
- 会場となる「ネーブルみつけ」は、遅くとも年度始にすぐに予約する。